

和泉希洋志

Kiyoshi IZUMI

GABOMI

ガボミ

平野薫

Kaoru HIRANO

八木良太

Lyota YAGI

山本高之

Takayuki YAMAMOTO



和泉希洋志 (Ocean Grid) 2008年 ミクストメディア



平野薫 (untitled -jacket-) 2008年 服 (ジャンパー)



GABOMI (空とトラック) 2011年 写真

# Takamatsu Contemporary Art Annual vol.02

## Gifts and Exchange

### 2012 7/28(土) → 9/9(日) 月曜日休館

### 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.02

#### 贈り物と交換

開館時間：火～土曜日9:30～19:00 / 日曜日9:30～17:00 入室はいずれも閉館30分前まで

観覧料：一般800円(640円) 大学生500円(400円) 高校生以下無料

\* ( )内は前売および団体20名様以上の料金

\* 身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

前売り券：美術館1階受付、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店および南本店にて7月27日まで販売

主催＝高松市美術館

後援＝朝日新聞高松総局 NHK高松放送局 OHK岡山放送 産経新聞社高松支局 山陽新聞社 RSK山陽放送

四国新聞社 KSB瀬戸内海放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 毎日新聞高松支局 読売新聞高松総局

協力＝一般財団法人さぬき生活文化振興財団

助成＝芸術文化振興基金 



八木良太 (vinyl) 2005年 氷のレコード/プレイヤー



山本高之 (きみのみらいをおしえます) (ビデオスタイル) 2011年 映像作品

Takamatsu City Museum of Art  
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

# Takamatsu Contemporary Art Annual vol.02 Gifts and Exchange

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.02

— 贈り物と交換 —

「高松コンテンポ  
発掘・紹介する年  
回「vol.00」、瀬戸  
に引き続き、「vol.0  
今回のテーマ「贈  
私たちにとっての、ま  
て設定しました。  
この混迷する世界  
かけという面では確

## [出品作家]

### 和泉希洋志

Kiyoshi IZUMI

1968年香川県丸亀市生まれ。主にサンプリングの手法による絵画、立体、映像、音楽、洋服の制作など多岐に渡って活動している。90年初個展。97年に英国のレーベル(リフレックス)よりCDデビュー、その後もリリースを重ねる。96年より小杉武久のサウンド・パフォーマンス、97~02年ボアダムズのライブとレコーディングに参加。大阪在住。



《Helio sphere vol.2》2008年  
ミクストメディア



《untitled3》2011年 ミクストメディア

### GABOMI

ガボミ

1978年高知県生まれ。トキワアートギャラリー、sottoprodotto、高松市塩江美術館での個展(いずれも高松/2011年)ほか、香川の人・出来事・モノをモチーフとした多くのアートプロジェクトに関わる。私鉄ことでんの車両工場を撮影した「ことでん百年目の写真展」(高松天満屋/2011年)が大きな反響を呼び、今年7月末に赤々舎より写真集出版予定。高松在住。



《闇と花》2012年 写真



《HUMAN》2012年 写真

「フリーアート・アニュアル」は、独創性、将来性のある作家を一度の現代美術のグループ展です。パイロット展としての初国際芸術祭2010の連携企画として本格開催した「vol.01」を開催します。

「贈り物と交換」は、昨年3.11を経験し激動する社会を生きる人とコミュニケーションの開かれた可能性を探るキーワードとし

の中で芸術に何ができるでしょうか。社会への直接的な働きにやさやかなものです。しかし、ものごとの価値をともしれば損

得や数で計ろうとする昨今、市場原理主義とは違うものとして、芸術は生まれ、私たちにパーソナルな贈り物を届けることができます。作家から私たちへ、また次の人へと、獲得するのではなくまずは贈ることによって、そして交換することによって成り立つコミュニケーションです。

芸術は根源において「そこには存在しないもの」を表そうとし、過去と未来の両方に手を伸ばしていきます。そうして、パーソナルな贈り物を特定の誰かではなく、時代や場所を超えて交換していく中で、私たちは時おり作品から「思いがけない世界」を実感し、現実の世界に向き合う力になるでしょう。出品作を介して会場が、作家と鑑賞者、また鑑賞者同士の精神的な交換／交感の場となれば幸いです。

## 平野薫

Kaoru HIRANO

1975年長崎県生まれ。広島市立大学大学院修了。誰かが身につけていた衣服を糸へと解体し、再度つなぎ合わせて制作する作品で注目される。07年資生堂ギャラリー（東京）で個展。08年「OFF SITE」（横浜美術館）、09年「越後妻有トリエンナーレ」などに出品。最近ではSCAI（東京）で個展（6/29～7/28）。ニューヨーク滞在を経て現在ベルリン在住。



《untitled -grandmother-》2009年  
割烹着 撮影：木奥恵三



《untitled -Berliner Family-》2011年  
ボロシャツ／スカート

## 八木良太

Lyota YAGI

1980年愛媛県生まれ。京都造形芸術大学卒業。水で作ったレコードなど、時間や音を扱った作品を多く制作。「そこに存在しながら意識されないもの／識別不可能なもの」をテーマに、身近な素材の通常の機能を読み替えて別の意味を浮かび上がらせる。「MOTアニュアル2011」（東京都現代美術館）、「ヨコハマトリエンナーレ2011」などに出品。京都在住。



《Cyborg》2008年  
ヒマワリ／太陽電池／ブザー／モーター



《Common Difference》（ビデオスタイル）2009年 映像作品

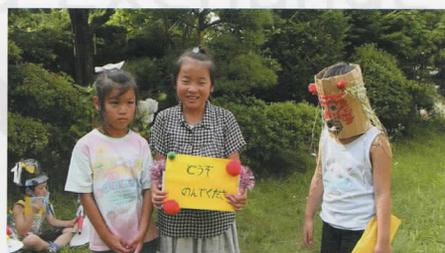
## 山本高之

Takayuki YAMAMOTO

1974年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院修了後、渡英、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインMA修了。小学校教諭としての経験から「教育」を中心テーマのひとつとし、子供のワークショップをベースとした映像作品を国内外で制作、発表。日常に既に立ち上がっているかもしれないアートの発見の可能性を探る。名古屋在住。



《どんなじごくへいくのかな（愛知）》（展示風景）2010年



《なまはげと生きる》（ビデオスタイル）2011年 映像作品

# 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.02 — 贈り物と交換 —

## 関連イベント

▶お申込み・お問合わせ先＝高松市美術館 087-823-1711

※各ワークショップと「アートであそぼう!」は7月15日(日)8:30から電話にてお申込ください。

7/28  
(土)

- 開展式  
13:00～/1F講堂/無料(観覧券が必要)
- アーティスト・トーク  
13:30～15:00/1F講堂/先着150人/無料  
出演者:和泉希洋志/GABOMI/平野薫/八木良太/山本高之
- ゲスト・トーク「インサイド・アウトサイド」  
15:30～17:00/1F講堂/先着150人/無料  
出演者:本展アドバイザー

浅井俊裕(水戸芸術館現代美術センター芸術監督)  
1962年群馬県生まれ。関西学院大学大学院修了。開館準備室時代より水戸芸術館の企画運営に学芸員として関わり、2009年より現職。1992年MITO ANNUAL'92「大きな日記/小さな物語」を皮切りに、多数の企画展や事業を手がける。専門研究テーマは現代美術、写真。

植松由佳(国立国際美術館主任研究員)  
高松市生まれ。丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員を経て2008年より現職。ピピロッチェ・リスト、マルレーネ・デュマス、やなぎみわの個展など、多くの企画に携わる。2011年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナーとして「束芋:てれこスープ」を開催。

木ノ下智恵子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任准教授)  
大分県生まれ。神戸芸術工科大学大学院修了。専門はアートプロデュース。1996年～2005年神戸アートビレッジセンター美術プロデューサーを経て現職。「新開地アートストリート」「水都大阪2009—ヤノバケンジプロジェクト」など多岐に渡る芸術実験を試みる。

- 和泉希洋志 サウンドパフォーマンス  
17:30～18:30/1F講堂/先着150人/無料  
グランドピアノをオシレーター(発振器)で共振させ、そのサウンドを変調し増幅。「aSymMedley」の名で音楽活動を行っている和泉のアンビエント・ライブ。



《LIVE》2011年

7/29  
(日)

- 「山本高之ワークショップーきみのみらいをおしえますー」発表会  
本展出品作「きみのみらいをおしえます(高松)」は、6月に4日間をかけて当館でワークショップを行いビデオ撮影したものです。そこに参加した子どもたちが実際に「占い」を行っています。  
14:00～16:00/館内数ヶ所にて/無料(展示室内は観覧券が必要)

8/4  
(土)

美術館の日

- 山本高之 子どもワークショップ  
「チルドレン・プライド8.4 in 高松」日ごろ思っている願いごとや言いたいことを、大きな声で言って欲しい! プラカードや旗を作って掲げて、みんなで行きましょう。  
13:00～16:30/3F講座室ほか/無料(材料費別途)/5歳～10歳20名(要予約▶上記参照)



《チルドレン・プライド》2011年

8/18  
(土)

- 八木良太 ワークショップ  
「3次元のドローイング」  
赤と青のペンを使って、透明の球体に3次元のドローイングをします。不思議な感覚を体験しよう!  
14:00～16:00/3F講座室/受講料500円(材料費別途)/小学生以上15名(要予約▶上記参照)



8/25  
(土)

- GABOMI ワークショップ  
「大人のコマ撮りアニメ」  
体を動かして1コマずつ写真を撮りアニメを作る。普通は絵に描かれたものや小さいものを撮影しますが、今回は体を使って実写版のアニメを制作!  
14:00～16:00/3F講座室/受講料500円(材料費別途)/高校生以上先着15人(要予約▶上記参照)



《コマ撮りアニメワークショップ風景》2011年

- ギャラリートーク(展示解説)  
学芸員:7月29日(日)11:00～  
美術館ボランティアcivi(シヴィ):会期中の毎日曜日(7月29日を除く)11:00～14:00～  
2F展示室にて(観覧券が必要)

- エントランス・ミニコンサート(弦楽アンサンブル)  
8月4日(土)11:00～11:30 13:30～14:00  
エントランスホール/無料

- 美術館の日(観覧券観覧料無料)  
8月4日(土)  
ワークショップやミニコンサートなどを開催

- やなぎみわ ワークショップ(A)・子どものアトリエ(B)  
8月11日(土)A 12:00～15:00 B 14:00～17:00  
3F講座室/受講料各500円/A 高校生～成人先着10人 B 小学4年生～中学生先着10人(要予約▶上記参照)

- アートであそぼう!(子ども鑑賞プログラム)  
日時:9月8日(土)「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.02」  
10月13日(土)「ウルトラマン・アート!」  
11月17日(土)「第4期常設展」  
各9:30～11:00/3F講座室/小学3～6年生15名(なるべく3回連続で受講して下さい、要予約▶上記参照)

- 展覧会  
第2期常設展  
6月23日(土)～9月2日(日)  
「旅のはざまー私はここにいますー」(現代美術)  
「鳥と蝶ー飛翔」(漆芸)

ウルトラマン・アート!  
時代と創造ーウルトラマン&ウルトラセブン  
9月15日(土)ー10月28日(日)



### 交通のご案内

JR 四国ーJR高松駅から南へ徒歩15分  
ことのでー互町駅または片原町駅から徒歩10分  
バス路線ー紺屋町バス停から徒歩3分  
丸亀町バス停から徒歩2分  
駐車場ー美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)